

**毛利栄子**議員の11月県議会一般質問の答弁の要旨を紹介し、一般質問、答弁の全文はホームページの[議会の様子](#)からご覧いただけます。



## 生活困窮者への光熱費補助について

**毛利** 世界的な原油の高騰により、日本でもガソリン、灯油の値上がりや食料品などにも影響が出ている。県内で福祉灯油を実施する自治体が広がりつつあり、国では実施自治体に対し特別交付税で措置するとの方向を示した。なかなか実施に踏みだ出せないでいる自治体を後押しするためにも、県として生活困窮者に対し、光熱費の補助を実施する自治体に半額を負担するなど、積極的な支援策を講じていただきたい。

**健康福祉部長** 市町村において支援の必要性を判断してもらうことになるが、実施する場合は今回の特別交付税措置を活用できるため、実施の後押しになると考える。県としては、今後示される国からのこの措置に関する情報を市町村に速やかに提供する。

## リニア中央新幹線工事について

**毛利** 豊丘村の伊那山地トンネル坂島工区で11/8に発生した崩落事故について、事故連絡が遅く、範囲も狭いことはいかがかと思う。県の見解と対応は。

**リニア整備推進局長** 連絡すべき事故の種類や程度、連絡する市町村の範囲が明確に定められていなかったことが原因と考える。JR東海に対し連絡体制を見直すよう要請し改善が図られた。今後も新たな連絡体制に基づき市町村への速やかな情報提供を求める。

**毛利** 坂島工区における事故原因の調査も再発防止対策もできていない中で、どんどん工事を進めることは作業員を命の危険にさらすことであり、原因究明と再発防止対策が明確になるまで、県内の全ての工事は中止するようJRに求めている。

**知事** 工事を中断している坂島工区への対応も含めて、JR東海に対してどのような要請が必要か、報告内容を十分に精査した上で検討していきたい。

## 特別支援学校の環境改善について

**毛利** 校舎の老朽化や教室不足、長時間にわたる通学をはじめとして各学校の差し迫った現状や声にどう応え、新年度具体的にどう着手するのか。新たな設置基準に合わせるためには分校や分教室ではなく、新設校が必要ではないか。

**教育長** 現在築年数や劣化状況から、早急な対応が必要な松本養護学校と若槻養護学校については検討懇談会を開催し、保護者や関係者等からご意見いただき、学びのあり方と環境整備に検討を重ねてきた。できるだけ早期の環境整備に努めていく。長時間通学者の解消は丁寧にニーズを把握の上、必要な対応に努める。今後の児童生徒数の推移を見極め、まずは設置基準を満たした整備を進める方策を検討していく。

### 質問を終えて

特別支援学校の劣悪な環境は長年放置されてきました。自らがすすめる高校改革には数十億円で新校をつくるのにひどすぎます。障がい者は置いてきぼり。

